

## 第72回仙台市中学校総合体育大会柔道競技要項

1. 目的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。  
 2. 日時 令和5年6月10日（土）～11日（日）（※6/9午後3時以降会場準備）

6月10日（土）	6月11日（日）
<p><b>【男女団体戦 予選・決勝】</b></p> <p>7:30 役員集合・会場準備・点検</p> <p>8:00 開場 受付</p> <p>8:20～8:45 男女団体戦 非公式計量</p> <p>8:45～9:15 公式計量 柔道衣検査</p> <p>9:15～9:45 監督会議</p> <p>9:45～9:55 開会式</p> <p>10:00～ 男女団体戦 競技開始</p> <p>14:00～ 男女個人戦公式計量・服装検査</p> <p>15:00～ 監督会議（計量・服装検査報告）</p> <p>男女団体戦が終わり次第 男女団体戦表彰式</p> <p>※エントリー数によって、試合方法の変更あり</p>	<p><b>【男女個人戦】</b></p> <p>7:30 役員集合・会場準備・点検</p> <p>8:00 開場 受付</p> <p>8:45～9:15 監督会議</p> <p>9:20～ 男女個人戦 競技開始</p> <p>男女個人戦が終わり次第 男女個人戦表彰式</p> <p>終わり次第会場撤収</p> <p>※エントリー数によって、試合方法の変更あり</p>

3. 会場 宮城県武道館（仙台市太白区根岸町15-1 TEL249-1216）
4. 種目
- ① 男子団体戦  
各団体1チーム出場。1チーム5名とし、体重の軽い者から順から並べる。（補員3名を登録できる）
  - ② 女子団体戦  
各団体1チーム出場。1チーム3名とし、体重の軽い者から順から並べる。（補員2名を登録できる）
  - ③ 男女個人戦 エントリーは各階級4名以内とする。  
 男子 50 55 60 66 73 81 90 90超  
 女子 40 44 48 52 57 63 70 70超
5. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定（2022年4月1日施行の改正ルール）及び国内における「少年大会特別規程」、今大会申し合わせ事項によって行う。柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りを不可とする。（公財）講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
6. 競技方法 (1) 団体戦
- ① 男女とも、参加チームによる予選リーグ方式を行い、各組の上位2チームによってトーナメント方式を行う。（参加校数により変更あり）
  - ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
  - ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

- ④ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。
  - ア 記録本部に提出する。
  - イ 委員長に提出。
  - ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。
- ⑤ 試合時間は3分間とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑥ 勝敗の基準は、「一本」,「技あり」または「僅差(指導差2)」以上とする。
- ⑦ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

- ⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦では、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。
- ⑨ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
  - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。
- ⑩ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
  - ア チーム間における勝ち数による。
  - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
  - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

## (2) 個人戦

- ① 各階級トーナメント方式とする。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③ 優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合、「指導」の差がついた時点で勝敗を決する。

## 7. 計量及び柔道衣点検

### 【計量】

- (1) 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- (2) 公式計量は1回とし、再計量は一切認めない。
- (3) 公式計量の服装については、男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下

穿きとする。※包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

- (4) 公式計量において、不正・偽装行為（競技役員の指示なく、体重計から降りる等）が競技役員によって確認された場合、該当選手を失格とする場合もある。

【柔道衣点検】 (1) 現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（新規格の赤色のマーキングのもの）

(2) 柔道衣に必ずゼッケン（所属名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

① 布地は白（晒，太綾）とする。

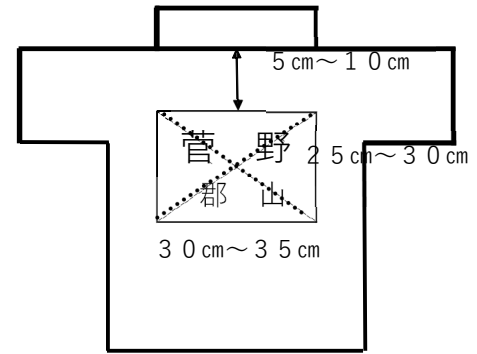
② サイズは横30～35cm，  
縦25～30cmとする。

③ 名字(姓)は上側2／3，  
所属名は，下側1／3とする。

④ 書体は太字ゴシック体とする  
（明朝または楷書でもよい）。

⑤ 文字色は，男子は黒色，女子は濃い赤色とする。

⑥ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



(3) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖・丸首・無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては，（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

(5) 胸マーキング等について，所属名と一緒にする

※ この際、柔道衣が規定に合わない、ゼッケンの対角線縫いがないなど、不備がある場合は失格となる。事前に各所属団体においても顧問の先生から出場選手へのご指導の徹底をお願いいたします。

※ 袖や裾が長いため、折り返して縫い付ける柔道衣が見られますが、認められない。

## 8. 引率及び監督等

(1) 学校においては、監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員（※1）とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会（上位大会を含む）で登録できる学校は1校のみであること。

① 満20歳以上であること。

② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。

③ 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。

④ 次のいずれかに当てはまる者とする。

- ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
- イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
- ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

- (2) その他の団体においては、同一競技内において、中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督、コーチとして登録できるチームは1チームのみであること。
- (3) 学校においては、外部コーチをおくことができる。ただし、外部コーチは出場校の校長が認めたものとし、令和5年「外部コーチ申請書」を申請したもの。コーチの条件とは次の通りである。

- ① 当該校の校長が認めた者。
- ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導していた者。
- ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- ④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。
- ⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※ 大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。

- (4) 引率・監督は、審判員に準じた服装をすること。

#### 9. 表彰 (1) 男子・女子団体戦

優秀校は、男女とも第3位まで表彰する。今大会の結果は、県大会のシードに反映する。なお、出場チーム数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

#### (2) 男子・女子個人戦

優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。今大会の結果は、県大会のシードに反映する。なお、出場人数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

#### 10. 上位大会への出場枠

(1) 団体戦 男女団体戦優勝校、準優勝校は県大会の出場権を得る。

(2) 個人戦 男女各階級、以下の人数が県大会の出場権を得る。

男子	50kg級	55kg級	60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	90超
	5	3	4	5	3	4	3	5
女子	40kg級	44kg級	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	70超
	6	5	6	6	7	5	5	5

- 11. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、**5月2日（火）16:45**まで必着で、仙台市立郡山中学校・菅野宛てにデータ・原本をC4thで提出。C4thが導入されていない学校は、郡山中のメールに送ること。※原本はプリントアウト→代表者印押印→郵送か、PDF化（代表者印押印・フルカラー・300dpi以上に限る）してデータで送る。

提出先

〒982-0003 仙台市太白区郡山 5 丁目 10-1  
仙台市立郡山中学校 菅野翔太  
Tell 022-248-0071 Fax 022-304-1349  
Mail [koriyama@sendai-c.ed.jp](mailto:koriyama@sendai-c.ed.jp)

## 12. その他

- (1) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
  - ① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚、至急専門医の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。
- (2) 今大会は保護者入場の制限を行わない。
- (3) 大会参加前に参加予定校において新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、必ず仙台市柔道専門部委員長へ報告することとする。
- (4) 柔道精神に反する選手は大会への出場を停止する。
- (5) 柔道選手らしからぬ髪型(パーマ、剃り込み、染色・脱色、異常なかりあげ等)や眉(剃り込み・剃り上げ)の認められる選手の出場は認めない。
- (6) 男子選手の更衣・荷物置き場としては観客席を使用する。女子選手の更衣・荷物置き場としては更衣室を使用してもよい。
- (7) 1Fは素足(上履きを使用しない)とし、下足は各自管理する(上履き下足箱は使用しない)。
- (8) 館内でのフラッシュ撮影は競技の妨げになるため禁止する。
- (9) 撮った写真などはSNS、インターネットにアップしない。
- (10) 応援について  
試合中に選手、監督、コーチ、観客席からのコーチングは認めない。ただし、試合が中断している時の監督からの指示は認める。
- (11) 昼食について  
2階観客席でのみ可とする。各校で出したゴミは、必ず持ち帰る。
- (12) 体調に異変を生じた生徒がいた場合は、顧問が大会本部へ必ず報告をする。
- (13) 駐車場での事故等に関しては一切の責任を負わない。